

業務実績評価（自己評価）における プロセス評価等を行った業務の概要

評価

A

生ゴミ堆肥普及に向けた「生ゴミ用収集袋に生分解性プラスチック利用の有用性」の検証事業（実証試験）に協力し、技術力で貢献

背景・課題

生ゴミ堆肥を普及するため、手間と時間を削減し、**袋ごと**堆肥化機械に入りたい

「バイオプラスチック導入ロードマップ」（令和3年1月策定）において、生ゴミ用収集袋に生分解性プラスチック（生分解堆肥化によるプラ）の利用が有用とされたが、**生分解プラの分解状況が不明**

取組の内容

事業への助言

- ・農林水産省から要請を受け、バイオプラ業界及び有識者との検討会に参加
- ・実証試験において堆肥のサンプリング方法及び適切な試験条件について委託事業者へ**技術的助言**

実証試験に協力

- ・顕微FT-IRにより、目視で確認できない生分解プラの**ポリマーの崩壊（細片化）が進む過程を確認**し、得られた結果を委託事業に提供することにより**データを補完**
- ・策定する生分解プラ生ゴミ袋導入生産業者向け**ガイダンスへ助言**

成果・効果

- ・堆肥中に生分解プラが残存している状態であっても、分解が十分に進んでいることを確認し、**実証試験データの充実に寄与**

- ・生ゴミ処理を行う自治体が生分解プラ生ゴミ袋導入を実施する際の**手助けとなるガイダンス作成に活用**

生ゴミ等資源の
肥料化促進

Copyright(C) Food and Agricultural Materials Inspection Center. All Rights Reserved.

1

2 農林水産省委託業務(技術力向上への支援)

評価

A

都道府県職員に対して、外部精度管理試験結果を活用した実効性のある分析実務者研修を実施し、都道府県の分析技術力の向上に貢献

背景・課題

都道府県職員の分析能力の低下

- ・分析能力を確認する外部精度管理試験（共通試料による手合わせ分析）に都道府県も参加しているが、Zスコアで**「不満足」な成績が散見**
- ・分析技術力の向上が必要な都道府県の理解不足により、**成績が二極化**

都道府県職員から「肥料分析実務者研修」の実施の要望

- ・肥料分析の实地研修としての要望が多いが、コロナ禍において**参集しての開催が困難**
- ・立入検査サンプリング研修の実施の要望が多

取組の内容

研修形態の検討

- ☆研修対象者を外部精度管理試験参加都道府県職員とし、**試験結果を基に研修を実施**
- ☆外部精度管理試験成績が不満足となった試験室が多い成分について分析上の注意点を**重点的に解説**

オンライン会議システムの活用

- ☆都道府県が**経費をかけず参加可能**
- ☆**少人数**で開催し、都道府県ごとの分析業務の**改善方法**について、より**細やかに助言**
- ☆要望のあった立入検査サンプリング方法について、注意点を盛り込んだ動画により**分かりやすく解説**

成果・効果

技術力向上の後押し

- ☆実際の分析結果を用いて、**分析精度に対する意識の浸透**
- ☆今後も今年度と同様に外部精度管理試験結果解説の**継続の希望多**
アンケート結果
有意義度4.3点
(R3 4.0点)

都道府県の
分析技術力
向上に貢献

Copyright(C) Food and Agricultural Materials Inspection Center. All Rights Reserved.

2

評価 S OECDによるGLP*調査当局に対する現地評価を受け、国際的な信頼性を確保 (* GLP : Good Laboratory Practiceで優良試験所基準のこと)

背景・課題

- ・我が国のGLP制度及びGLP調査職員の調査能力が国際水準を満たしているか現地評価を受けることに(定期的。10年ぶり2回目)
- ・農林水産省におけるGLPプログラムは3つ(農薬、飼料添加物及び動物用医薬品等)
- ・**初回(10年前)**評価において調査能力の維持・向上等につき、**3GLP**で**要協力と勧告**
- ・5日間で円滑に3GLPの**現地評価**を行うため、評価チームとの事前調整及び提供資料等**準備と対応**が必須

取組の内容

- ・農水省3GLPを代表し、**農薬GLPが中心的役割**となり、現地評価に対応
- ・評価チーム(南アフリカ・スペイン)等の調整窓口を担当するほか、各種の準備や対応を主導
- ・オンラインを活用し、説明・意見交換の場を一本化する等の**効率化策**を評価チームに**提案・了承**
- ・現地評価において、初回評価における**勧告**への**対応状況**についても評価チームに**説明**



成果・効果

- ・初回(10年前)と比べ、**効率的な現地評価を達成**
(OECD部会において評価チームが**謝意を表明**)
- ・初回現地評価の**勧告**への**対応**についても**適切と評価**
- ・3GLPの**GLP調査能力**が**国際的なレベル**であることが**承認**
- ・GLP適合試験施設で作成された試験成績の**国際的な信頼性を確保**

Copyright(C) Food and Agricultural Materials Inspection Center. All Rights Reserved.

3

4 農薬の登録審査に附帯する業務

評価 A カンボジアの要請を受けFAMICの知見、技術を活かした研修を実施し、同国の残留農薬分析技術の向上により**農薬行政の国際調和**に貢献

背景・課題

NALの現状と今後

- ・分析者の**能力が不十分**
- ・使用可能な分析機器などに**制約**

信頼性確保が急務

- ・(独)国際協力機構(JICA)から分析の**高度な専門性**を有するFAMICへ、カンボジア国立農業研究所(NAL)への**派遣依頼**

取組の内容

- ・派遣期間は約1ヶ月間と短期間であったため、現地で**念入りなミーティング**を実施し要望を把握
- ・残留農薬分析の実施に必要な**基礎理論**の講義、分析技術・解析実習
- ・ディスカッションを行い1つ1つの**習熟度を確認**
- ・**分析手順書**や**記録書作成**を指導
- ・実習後に手順確認が行えるよう分析操作を**録画し動画教材を作成**
- ・派遣中に今後のNALにおける**課題をまとめて**、帰国後、JICAに**提案**

成果・効果

- ・**分析能力向上**
- ・**ラボの再構築**
- ・カンボジアにおいて**自ら分析手順を構築する能力の向上に寄与!**
- ・残留農薬分析の技術発展により同国の**農薬行政の進展に貢献!**
- ・**国際会議**で我が国の主張への**支持も期待!**



Copyright(C) Food and Agricultural Materials Inspection Center. All Rights Reserved.

4

評価

A

- ・ 確かな技術力により特定添加物の**品質不良製品を検出し流通を防止**
- ・ 迅速かつ確実な対応により市場への**安定供給及び品質向上に貢献**

背景・課題

- ・ 検定試験（2ロット）にて**有効成分不足**を確認
- ・ 7年ぶりの検定不合格
- ・ 申請者が納得がいかず、**再検定請求や原因究明せず追加ロットを矢継ぎ早に申請**

検定不合格事案への対応

- ①試験の更なる確実性担保
- ②再検定請求への対応
- ③別の2ロットによる検定申請・再検定申請への対応

検定業務の大幅増

業務対応上の困難発生

- ・ 年末年始、コロナ感染発生による人員不足

取組の内容

①試験結果の更なる確実性担保

- ・ 複数の試験者、試験室による確認分析、過去の検定合格品の同時分析を実施

②業務増大に確実かつ迅速に対応

- ・ 短期間で再検定請求、別ロット品による検定申請に対し、事前のスケジュール調整により時間的ロスを抑制
- ・ 検定担当者の業務負担を踏まえ、他の業務を部内で調整し実施体制を確保

人員不足、業務過多など困難な状況ですべて**標準処理期間内に処理**

③申請者の業務改善及び再発防止

原因究明として申請者への確かな助言・指導をした結果、**製剤への安定剤の添加ミスを確認！**

成果・効果

- ・ **品質不良製品**を確実に検出し、市場への**流通を防止**

- ・ 原因を踏まえた新たなロット申請にも迅速かつ確実に対応し、市場における欠品の回避と**安定供給に貢献！！**

- ・ 原因究明により申請者の業務改善及び再発防止に繋がったことで特定添加物の**品質向上に貢献！！**

Copyright(C) Food and Agricultural Materials Inspection Center. All Rights Reserved.

5

6 食品表示の科学的検査等業務

評価

A

- 農林水産省及び県へ**あさりの産地判別**に関する科学的知見や検査結果を提供することにより、あさり全体の**原産地表示の適正化**に貢献

背景・課題

（令和4年2、3月）
農林水産省の調査で、熊本県産と表示されているあさに外国産が混入している疑いがあるとの結果
（FAMICは産地判別検査を担当）

マスコミ報道もあり、全国のあさり産地の**信頼を揺るがす**社会的な反響

（同年3月～）
消費者庁及び農林水産省はあさりの産地表示適正化のため、いわゆる「**長いところルール**」の**適用厳格化**等を実施

取組の内容

国等からの検査要請への対応

- 農林水産省は対策の効果を測るための点検調査を実施。国からの検査要請を受け、FAMICはあさりの**産地判別検査を担う人員を増強し**、短期間で30件の検査を実施

○このほか、**数多くの検査要請に対応**

- ・ 食品表示110番情報に係る農林水産省からの要請（2回、計2件）
- ・ 自治体からの要請（9回、計28件）
※自治体の件数は警察の要請を含む

熊本県へのフォローアップ

昨年度あさりの産地判別に関する研修を行った熊本県からの分析技術に関する質問等に適宜対応

成果・効果

FAMICが行った検査の結果を端緒として、国、県等は**14業者**に対し、食品表示法に基づき**不適正表示の改善を指示**

あさりの産地表示の適正化の推進に貢献

Copyright(C) Food and Agricultural Materials Inspection Center. All Rights Reserved.

6

評価 **A** 不適正な方法でJASマークを付した製品（構造用合板等）を日本国内に流通させた中国のJAS認証事業者に対応するため、**検査及び調査等**を実施

背景・課題

- 中国のJAS認証事業者が**認証の技術的基準を満たさない**形で製造した製品（構造用合板等）に**JASマーク**を付して出荷、**日本へ輸出**されていたことが昨年10月に判明
- 速やかに**流通量や流通先等の**特定**が必要
- 製品がJASの基準に**適合**かどうか確認が必要
- 事業者・認証機関**の認証業務が**適正**か確認が必要

取組の内容

流通実態の把握

- 判明後速やかに、輸入業者説明会を開催し窓口を設定。納品先、納品数量等の**情報収集体制を確立**

製品性能を把握

- 各地域センター職員も動員し、効率的かつ**迅速に当該製品在庫を特定、検査体制を構築**

認証業務の緊急調査

- 当該事業者への調査が中国の水際対策でリモート調査となる中、買上げ検査時の在庫品記録等事前入手データと、スマホ等を駆使した**リアルタイムの製造実態の把握、データの照合**により、不適正な実態を**確実に特定**

成果・効果

- JAS抹消された製品の国内流通量等を**短期間で概ね特定**
- 迅速にサンプリングし、製品の性能を短期間で把握**
- 製造実態や格付状況等を**的確に把握**
- 不適正な方法でJASマークが付され出荷された**原因**等を調査により特定
- JAS制度の**適正な運用**に貢献！！

Copyright(C) Food and Agricultural Materials Inspection Center. All Rights Reserved.

7

評価 **S** 事業者団体等への農林水産・食品分野の標準化意義の浸透により、JAS提案やサポート要請数が増え、JAS原案作成数が大きく伸長

背景・課題

- 農林水産・食品分野の標準化ツールである**JASの対象範囲が拡大**
- 「モノ」の品質だけでなく、**プロセス管理**や**試験方法**などもJAS化が可能に
- 農林水産・食品分野では、**標準化の意識の浸透が不十分**
- 事業者団体等からの**JAS提案が低調**

取組の内容

標準化意義を浸透

- JAS制度説明会やSNS、展示会などで標準化の意義を説明し浸透を促進

JAS化成功事例を紹介

- 障害者参画、機能性成分定量法、レストラン管理、錦鯉品種などこれまでになかった分野でのJAS化事例をセミナーやSNSで紹介

論文投稿

- 試験方法JASの**性能確認結果を論文化**し、JASへの理解を促進

きめ細やかなサポート

- 事業者団体等から要請を受けて、JAS化検討から農林水産省への申出までを**伴走型で支援**

成果・効果

標準化が浸透

- これまでの**取組の継続**により、事業者団体からの**JAS提案やサポート要請**が増加
- JAS原案作成数が大きく伸張**
- 農林水産・食品分野における**標準化の推進**に大きく貢献
- 成長戦略実行計画、農林水産物・食品の輸出拡大実行戦略等、政府の各**重要施策推進**に貢献

Copyright(C) Food and Agricultural Materials Inspection Center. All Rights Reserved.

8

評価 **A** JAS法改正により、**有機酒類がJAS制定対象**となったことに対応するため、有機酒類に係る**認証手続き体制を構築し、円滑かつ速やかな制度運用**に貢献

背景・課題

- ・ JAS法改正により、**有機酒類がJAS制定対象**に

- ・ 主務大臣は財務大臣と農林水産大臣であるため、**国税庁を含めた認証手続き体制**の構築が必要



取組の内容

- ・ 国税庁による有機加工食品JAS（有機酒類に係る部分）の**改正案の検討に協力**
- ・ **農林水産省や国税庁と協力**し、有機酒類に係る登録認証機関等に対する**調査手順を検討**
- ・ 国税庁職員に対して**残留農薬分析の研修を実施**

国税庁と連携して、有機酒類に係る登録認証機関等に対する**認証手続き体制を構築**

成果・効果

- ・ JAS法改正から施行までの**4ヶ月**で有機酒類の**認証が可能**に
- ・ 改正法施行直後の令和4年10月末には、登録認証機関等**18機関**（国内15、外国3）が有機酒類の認証業務を開始し、**5事業者がJAS認証を取得**

有機酒類のJAS認証に係る**円滑な制度運用に貢献！！**

Copyright(C) Food and Agricultural Materials Inspection Center. All Rights Reserved.

9

10 国際相互承認締結に向けた業務 評価書P53

評価 **A** FAMIC認定制度（JASaff）の**国際的な信頼性向上**のための取り組み（国際相互承認）が大きく前進

背景・課題

農林水産物・食品の輸出拡大に向け、日本産品の輸出力強化が喫緊の重要課題

国際的に通用する認定・認証の仕組みを活用し、

- ・ 海外市場における日本産品の訴求力向上
 - ・ ワンストップテストングにより輸出の手間を省く
- 等の**輸出力強化の取組推進が必要**

取組の内容

令和4年9月、**国際相互承認審査を受審**

審査の受審にあたり、

- ・ 国際機関※が定める要求事項へ適合する品質マニュアルを整備・運用
※アジア太平洋地域認定協力機構（APAC）
- ・ 関係機関とのネットワークを活用と併せて自ら評価チームとのリモート会議を設定し積極的な情報収集の結果、精度の高い提出資料等を作成。
- ・ 工程表による業務の見える化により進捗を管理し受審体制を整備

国際機関評価チームから

国際相互承認の推薦を得る



成果・効果

国際的に通用する認定機関であることが証明されることにより

- ・ 海外事業者へ訴求力のある国際機関のロゴの使用が可能に
- ・ 輸出先国において再認証せずに市場へのアクセスが可能に



JASをベースとした国際規格により認証された製品の、**輸出力強化に道筋**

Copyright(C) Food and Agricultural Materials Inspection Center. All Rights Reserved.

10

評価 **A** 電気料金の高騰による業務への影響を抑えるべく、節電意識の醸成、取組の高度化等により、**経費の縮減**に寄与

背景・課題

- ・無駄削減の取組をより推進し**実効性の向上**が必要な状況。

さらに、

- ・世界規模でエネルギー供給への不確実性が高まり、**電気料金の引き上げ**が相次いでいる状況。

電気使用料の大幅な増加により**業務運営に支障を来す**おそれ。



取組の内容

電気使用料のシミュレーション

過去の使用量から電気使用料を**シミュレーション**し、節電の必要性を明確化、取組を推進。

アンケート調査

全職員から取組事例等を収集、**フィードバック**による取組の高度化
〔・取組事例 105件
・効果的と思われる事例 52件〕

取組目標の設定

業務の実情に合った取り組みを推進すべく、**部署ごとに目標**を設定
〔取組の事例・建物自動ドア通電時間の見直し
・廊下等の照明の間引き・消灯 等〕

一方で、**職員の健康に配慮**し過度な取組とならないよう注意喚起

成果・効果

更なる省エネルギーの推進、環境配慮等に向けた**意識を醸成**



削減率

削減率はこれまでの約**0.8%**（過去5年平均）から約**7%**に増大。

削減額

前年度と同じ使用量の場合、約6,400万円増となるところ約5,400万円増に抑えられ、約**1,000万円**の節約。